



精度の高い出荷検査を行い
会社のブランド価値高める

1959年11月に東京都港区で創業、
自動車やオートバイのエンジンガasketの製造からスタートした企業で、
そのため社名にもガasketの文字がある。
時代の流れに合わせてプラスチック切削加工を主事業に据えた。
亶理町にある仙台工場は1991年の設立、この地から社会ニースに心え続ける。

「自分が最終的に自社製品の品質を判断するので、責任重大であるとともにやりがいがある」と話す伊達さん

社内で頼られる存在に
自分の知識・技術を
もっともっと高めたい

入社試験を経て無事に採用に至ったのが2021年2月のこと。以来、出荷検査の担当者として、様々な検査方法を身に付け、第一ガasket工業の更なる信頼向上に貢献している。
そんな伊達さんにも失敗の経験はある。それは、製品コードの確認ミスだ。「AとBの製品コードのものがほしいというオーダーだったのに、そのオーダーを勘違いし、Aだけを出荷してしまったという類のミスです。このことにより取引先にも自社にも多大な迷惑を掛けました。本当にあつてはならない間違いでした」

落ち込んだ伊達さんだったが、周囲は温かかった。「そのときも怒られるようなことはなく、皆さん、いい人ばかりで、本当にいい会社に入れたなと思います」

これからの目標は「職場でもっと頼られる存在になること」だという。「仕事で何か聞かれたら、即座に答えられるようになりたいです。そのために知識も技術もどんどん高めていきます」。明確な目標を実現すべく、伊達さんは日々研さんを積む。



a: 粗さ測定器で取り付けカラーの切断面の粗さを計測 b: 工具顕微鏡で部品のサイズを確認する
c: 様々な資料の見方にも精通してきた d: 伊達さんのいる出荷検査室のすぐ隣は製造の現場だ

教えてくだない! ACEの仕事ぶり



社内で一番年齢の若い伊達さん。「職場は何でも話せる雰囲気があって先輩たちも優しい」と話す

出荷検査の仕事は以前私が担当していたのですが、業務部へ異動することになり、後任を募集したところ来てくれたのが伊達君でした。性格はとても真面目で、何でも知りたいという探究心があります。私が2年目にはやっとならなくなった検査を1年目からこなしていましたし、この仕事にとても向いていると思います。これからもっとできる検査の範囲を広げて、検査のエキスパートになってほしいと願っています。

先輩に
聞いて
みました!

業務部 佐藤 健 さん
Takeru Sato

“3つの強み”を着実に生かす
プラスチック切削加工のファーストコールカンパニーへ

同社は、大型マシニングセンターや汎用旋盤によるプラスチック切削加工で、通常の設備機器では不可能なサイズの製品製造ができる環境に加え、試作製造から量産まで一貫した生産体制の中で多品種・小ロットに柔軟に対応できること、複雑な形状の製品製造を可能とする独自の切削技術を駆使し、要望に合わせたカスタマイズを実現できること、以上を“3つの強み”として掲げる。この3つの強みを持って、更に技術を高め、知識を蓄積し、ものづくりでこだわることでプラスチックの可能性を広げていく。



2020年8月には新工場も完成。製造体制が増強されている

第一ガasket工業株式会社
 □所在地/埼玉県草加市氷川町2112-20(本社)、亶理郡亶理町逢隈中泉一里原7(仙台工場) □代表取締役/高田 宏記 □資本金/4,600万円
 □創業/1959年11月 □従業員数/40人(2022年10月現在) □事業内容/プラスチック切削加工による製品・ゴム製品の製造
 □経営理念/プラスチック加工に情熱をもって取り組み、プラスチックの可能性を追求し、自社に関わるすべての人々の利益と幸福を追求します
 TEL 048-928-5200(本社)、0223-34-7834(仙台工場) http://www.daiichi-gk.co.jp/



product
プラスチック切削加工
技術をとことん追究する

工場用クレーンのバックアップリングから、
食品や医療機器向け製品まで幅広く手掛ける。



出来上がった
製品に不具合が
ないか徹底
チェック!

浪人時代に就職へ切り替えた
将来をあらためて熟考
働くことに意義を感じた

名取高等学校普通科出身の伊達京士郎さん。卒業時は大学への進学を考えており、受験したが希望校への合格がかなわず浪人生活へと入る。1年間、再び合格を目指し、学問に集中するも残念ながらもまた朗報は届かなかった。
浪人2年目に入り、夏を迎える頃、そうした自分の宙ぶらりんな状態に伊達さんはどこか居心地の悪さを覚えるようになっていた。そこで、伊達さんは決断を下す。進学から就職へ方向転換したのだ。「宅浪していたのですが勉強がどうしてもうまく進まず、それならば社会に出ることを考えた方がいいのではと思ったのです。その頃は、ただならぬ浪人生活を送るのは精神的にも良くないと感じていました」。その考えを話すと、両親も賛成してくれた。「いつも自分を見守ってくれて、本当に父と母には感謝です」
そこから、興味のあるプログラミングやWeb制作の勉強なども進めてみたが、手応えがない。では、と求人案内を探して見つけたのが、第一ガasket工業株式会社の出荷検査担当の募集だった。

時代の革新に対応しつつ
生産技術向上を常に追求

1974年に船舶のエンジンと冷凍機のメンテナンスを専門とする企業として創立されている。遠洋漁業をめぐる環境の変化などを理由に、徐々に各種産業機械の部品加工へと主事業をシフトし現在に至っている。「高精度の生産技術の向上」をモットーに「将来展望のある豊かな企業」を目指し、ためめめ努力を続ける。

もっと技術を身に付けたい
旋盤オペレーターとして
独り立ちを目指す

シマ精工に入社して3年目。旋盤オペレーターとしてCNC（コンピュータ数値制御）旋盤、汎用旋盤を操る。扱いはだいぶ慣れたが、それでもまだ作業は難しいと言う。「今、任されている仕事も、シマ精工が請け負っている仕事の中から見ればまだ簡単な部類のはずで、自分が成長するためにはとにかくミスをなくすことが大事だと思っています」

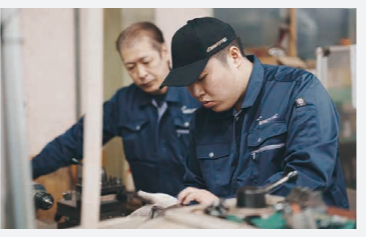
シマ精工としては菅原さんを伸び伸びと育てる方針。ミスを叱るのではなく、まずは一緒に解決策を講じ、その上で、繰り返し作業するための方策を共に思案する。「皆さん本場に優しくて、間違いがどうして起きたのかについてみんなと一緒に考えてくれて、助けられています。いい会社に入ったなと思っています」

菅原さんは来年、機械加工技能士の普通旋盤作業の2級を受験する予定だ。「資格も取れるものはどんどん取るつもりです。知識、技術をさらに身に付けて、後輩ができたとき、頼られる先輩でありたいです」。菅原さんは真剣な表情で話した。



a: 製品の状態をしっかりと確認しながら汎用旋盤を操作する菅原さん b: ノギスの扱いはもう手慣れたものだ c: 装置の調整には集中力を要する d: 旋盤など装置の各種準備やメンテナンスも自らが行う

教えてくだない! ACEの仕事ぶり



「忍耐力があって、集中力も高いので、菅原君は今の仕事に向いています。もっと成長してほしい」と中野部長は期待を寄せる

真面目な性格です。与えられた仕事をこつこつとこなすタイプで、忍耐力、集中力があって、飽きることなく作業をこなしてくれます。工場内で一番若いこともあって、先輩たちからかわいがられていますね。来年には機械加工技能士の普通旋盤作業2級の受験も控えています。旋盤オペレーターとしての能力をどんどん高めたい。そして、後輩ができたときには後輩に優しく指導できる先輩であってほしいです。

上司に
聞いて
ちゃい
ました!

製造部部長 **中野 和博** さん
Kazuhiro Nakano

product
省力化装置のパーツ加工で
大きな強みを発揮



加工から出荷まで、一貫して担えるのがシマ精工の大きな特徴。高い技術力で発注者の細やかなニーズに応える。

産業用精密機械の部品加工で存在感放つ
加工精度、納期、仕上がりで高い評価得る

1974年8月に有限会社大島鉄工所として発足。当初は船舶のエンジンと冷凍機のメンテナンスを行う企業であったが、環境の変化などから、77年にはCNC旋盤、マシニングセンターなどを導入し、主事業を機械部品の加工へと徐々に移していった。95年に社名を株式会社シマ精工と改め、2002年には工場を増築。また、高精度測定器なども積極的に導入し、市場ニーズに応え続けている。CNC旋盤5台、ターニングセンター2台、5軸マシニングセンター1台、マシニングセンター5台など設備も充実しており、産業用精密機械の部品加工分野で一目置かれる企業となっている。特に、複雑形状の加工を得意としており、様々な分野で用いられる部品の製造にその技術が生かされている。



工場内の整理整頓が行き届き、作業に打ち込める環境が整っている

株式会社シマ精工
 □所在地/気仙沼市岩月寺沢 208-1 □代表取締役/村上 菊夫 □資本金/1,000万円 □創業/1974年8月 □従業員数/14人(2022年11月現在)
 □事業内容/各種省力化自働機のパーツ加工、医療機器ユニット製造、一般機械加工
 □企業理念/人の巡り合いに感謝し、お互いに思いやりの心を持つ。時代の革新に対応すべく、常に新しい技術・技能を習得、お客様が求めている製品を提供することで最終的にはお客様、会社、社員、さらには地域社会に貢献する
 TEL 0226-27-2500 http://www.shima-seikou.co.jp/



希望の就職がかなわずも
自身の興味を考え
ものづくりの道へ進んだ

志津川高等学校（南三陸町）普通科出身の菅原真二さん。高校二年生のときに、卒業後は地元の南三陸町役場で故郷のために働きたいという考えに至り、準備を進めていたが、希望はかなわなかった。この時点で高校三年生の9月。菅原さんは頭を抱えることになった。「高校を卒業したら社会人になる、というのは決めていたので、南三陸町の職員になれなかったのは落ち込みましたが、そこから何とか気持ちを切り替えて就職先を探すことにしました。一つヒントになったのは、小さい頃から機械に興味があったこと。それで、ものづくりの世界に飛び込んでみようと思いましたが、そして、担任の先生から紹介を受けたのが株式会社シマ精工だった。会社見学で心に浮かんだのは「普通科出身の自分にできるかな」という不安だった。それでも、シマ精工側から「一から丁寧に教えるから大丈夫だよ、と言ってもらって、それで安心してお世話になることができました」。菅原さんは当時を振り返る。

株式会社堀尾製作所(石巻市)

二次加工担当

阿部仁徳さん(23歳)

Jintoku Abe

ダイカストの技術に強いこだわり
国内にとどまらず海外展開も

精密亜鉛ダイカスト部品の製造販売を主事業とする、株式会社堀尾製作所。1968年10月、家内の事業を開始した後、国内で工場移転を経て、81年12月に現在も工場を置く石巻市を製造の拠点とした。98年には本社機能を石巻市に移転。2002年、中国・大連での生産を開始。06年には深圳に工場進出するなど、海外展開も果たしている。

二次加工の技術を磨く日々
将来は加工装置を
作れる職人になりたい

阿部さんが入社してから担当しているのは二次加工という工程だ。「うちの製品は鑄造部門で出来上がるものが多いのですが、中には細工が必要なものがあります。それを担当するのが二次加工部門です。例を挙げれば、ネジ穴を切ったり、穴を仕上げたり、といったことになりま

す。実際には部品を装置にセットして作業します。入社して10カ月、今はまだ上司や先輩が見てくれることもありませんが、あと1年くらいの中には、どんな加工でも一人でやれるようになりたいと考えています」

阿部さんは今、大きな目標を持っている。それは「加工装置の設計から組み上げまでできるようになること」だ。「装置の構想から実際に部品を組み上げて完成させるまでを一人で行える上司がいま



a: 作業中の阿部さんはまさに真剣そのもの b: 装置の準備、メンテナンスも自ら行う
c: 作業の流れにも習熟してきており、先輩を頼ることも減ってきた d: 穴あけ作業も手慣れたもの

加工装置の組み立てまでできるようになることが阿部さんの目標。憧れの上司の姿をこれからも追い続ける

教えてくださる! ACEの仕事ぶり



高橋さんは「担当する装置がきれいに保たれているのは、仕事と真剣に向き合っている証拠」と阿部さんの仕事に対する姿勢を高く評価する

素直で、真面目です。仕事ぶりは丁寧ですし、装置がきれいに保たれているので、装置の細かいところまでちゃんと見ているのもよく分かります。課題は仕事のスピードを上げることでしょいか。まずは数をこなしていくことが大事。異常が出たときの対処が少し遅いときがあるので、視野を広く持つて、もう少し作業に余裕が出れば、それも解消されてくるはず。最終的に一人で何でもできるようになってほしいですね。

先輩に
聞いて
みました!

二次加工担当 高橋 裕也さん
Yuya Takahashi

亜鉛合金の開発にも取り組む
高精度が求められる部品製造で高い信頼を獲得

2020年に経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されるなど、地域経済の中心的な企業としても、精密亜鉛ダイカスト部品の製造販売のトップランナーとしても、存在感が更に高まってきている。金型製作では流動解析により図面から亜鉛の流動を予測し、成形前に成形時の不良のつきやすい箇所を認識することにより精密で信頼性の高い製品を作り出すことに長けている。なお、業界内では珍しく、亜鉛合金の開発にも取り組み、従来添加金属の組成比調整で高強度を達成、さらにホットチャンパーによる高生産性を実現した高強度亜鉛合金HZDC500を開発。金属射出成形品(MIM)に比べコスト面で優位であることなどから、市場からも高い評価を得ている。



上: 工場内は所狭しと装置が並び、各担当が真剣に作業に取り組んでいる
下: 本社機能も石巻市に移し、既に24年がたった

株式会社堀尾製作所
□所在地/石巻市北村字高地谷一21-2 □代表取締役/堀尾 正彦 □資本金/2,000万円 □創業/1968年10月 □従業員数/38人(2022年11月現在)
□事業内容/精密亜鉛ダイカスト部品の製造販売 □経営理念/世界に通用する技術と製造工程管理を充実させ、競争力のある会社を目指す。
従業員が公平に活動できる職場づくりを目指す。法令を厳守し、事業活動を通し地域と国の発展に貢献する。
TEL 0225-73-2488 http://www.horioss.co.jp/



product
高品質と評判の金型成形で
他社との差別化を図る

金型の精密な設計や製作のノウハウを蓄積、お客様のニーズに応えるためより高品質なものをづくりを志向する。



品質の高さで
市場から高い
評価を獲得!

結婚を見据え転職活動
自分に何ができるか考え
就職先を探していた

阿部仁徳さんは2022年2月から株式会社堀尾製作所で働いている。中途採用での入社で、前職は船の乗組員としてエンジンのメンテナンスなどを行う仕事をしてきた。長いと1年といったスパンでの航海になり、雄大な海を舞台に仕事をしていた阿部さんが、陸上の仕事に転職したのは結婚を考えていたから。「一人ならいいんですが、家庭を持つとなれば、やはり夫婦で共に生活したいなど。それで、自分ができることを考えて、機械を扱うことなら多少は自信があるので、ものづくりに携わりたいたいと思に至りました。そこを軸にして転職活動を行いました」

ハローワークに通ったり、転職サイトで探したりする中で見つけたのが堀尾製作所だった。「地元の企業でもものづくりを生業にしている。自宅から通いやすいなど、自分が求める条件と合っていました。堀尾製作所が求人を出すタイミングと、自分が探すタイミングも良かったみたいです」。2度の面接を経て、阿部さんは堀尾製作所の社員となった。